

# 救急・救助



増加する山岳事故に対する救助体制を強化するため、定期的に関係機関合同の訓練を実施しています。実践的な山岳救助技術を練磨するため携帯GPSと地形図を活用したルート選定及び急傾斜地での搬送訓練を実施しました。

山岳救助訓練

平成28年6月14日  
於：千種地区の山林にて

## 救 急

平成28年中の救急件数は1,452件、搬送人員は1,366人でした。1日あたり平均4件の出場で、町民31人に1人の割合で救急車が利用されたことになります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が958件(66%)で最も多く、続いて一般負傷が233件(16%)、交通事故が167件(11.5%)、その他が94件(6.5%)となりました。

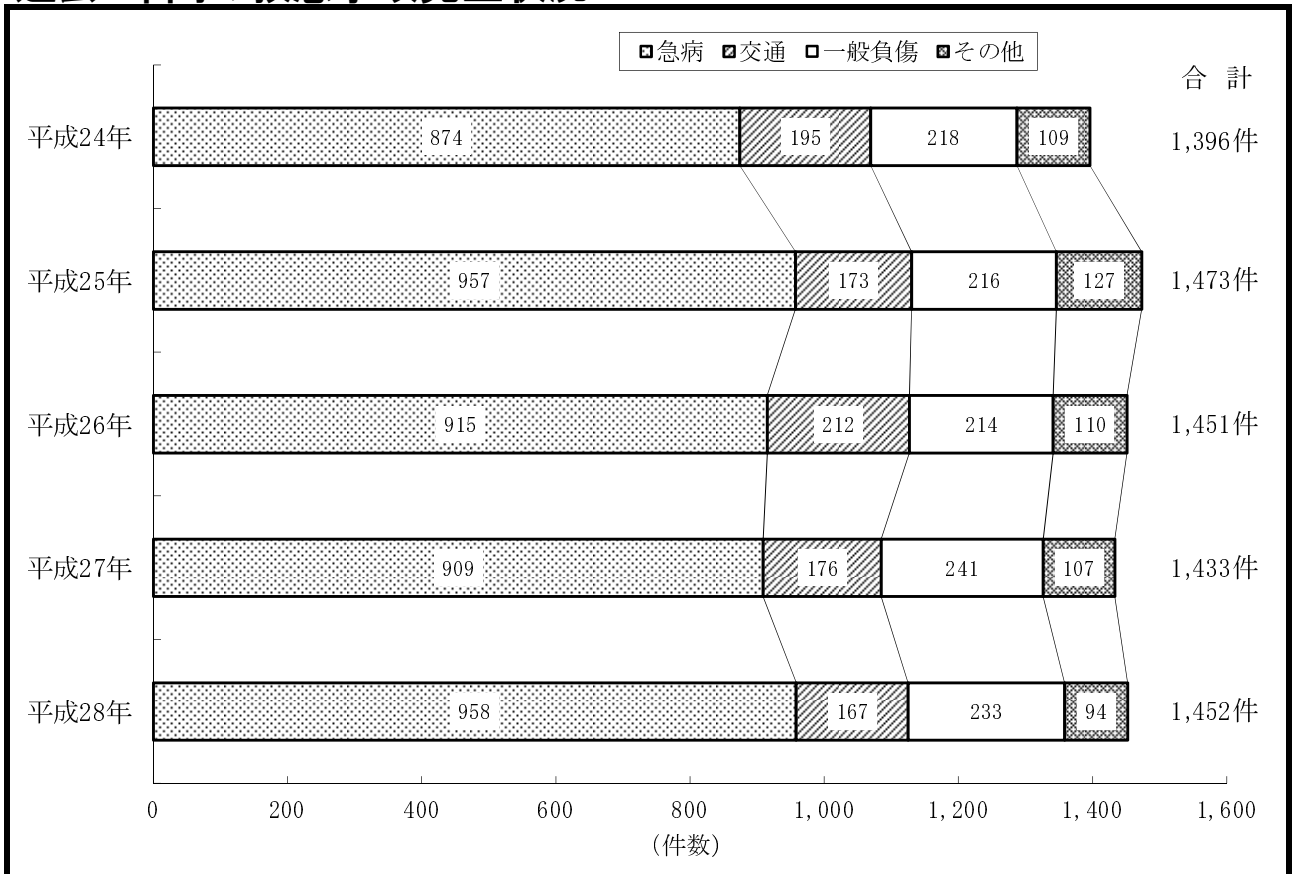
### 救急事故発生状況

区 別		年 別				
		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全 国	救急件数	5,802,455	5,915,683	5,984,921	6,054,815	
	発生率	453	466	467	477	
三 重 県	救急件数	87,076	90,560	89,277	90,593	
	発生率	469	488	481	499	
菰 野 町	救急件数	1,396	1,473	1,451	1,433	1,452
	発生率	338	355	350	345	348

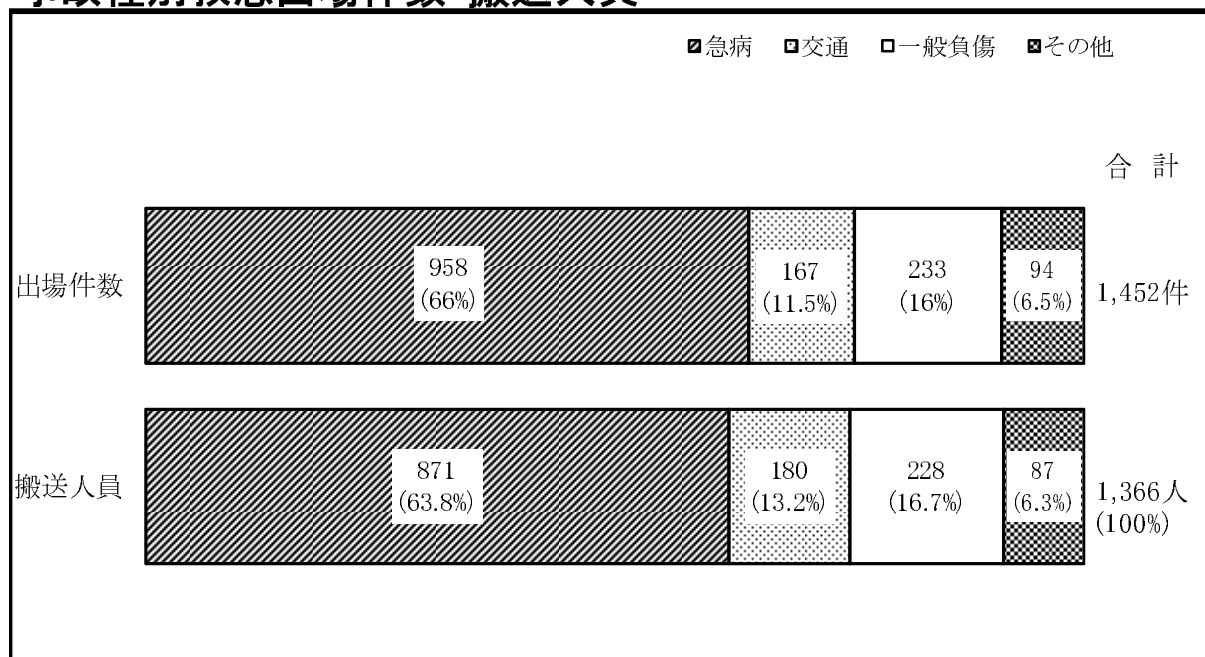
※発生率＝救急件数/人口×10,000

※菰野町人口 41,731人(平成28年12月31日現在)

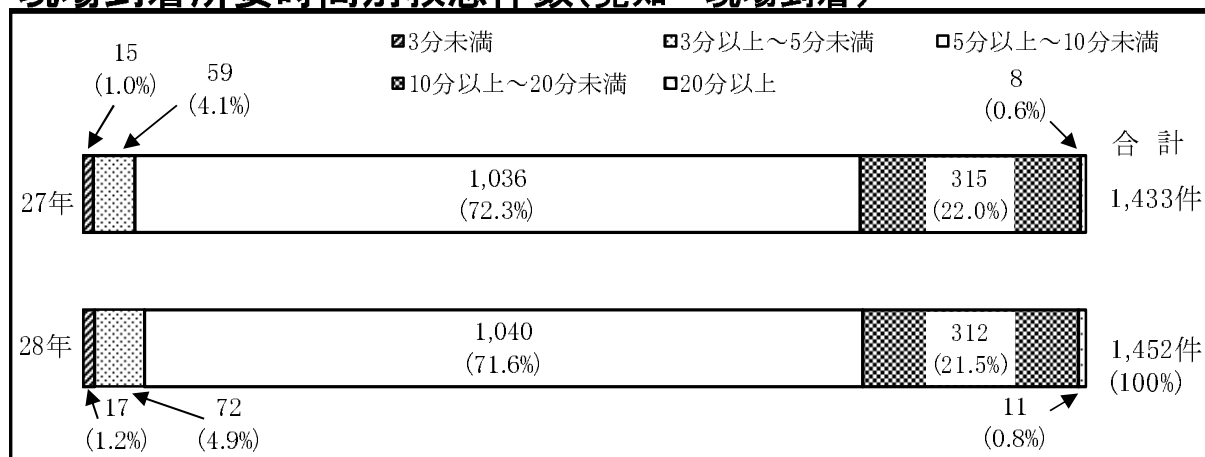
### 過去5年間の救急事故発生状況



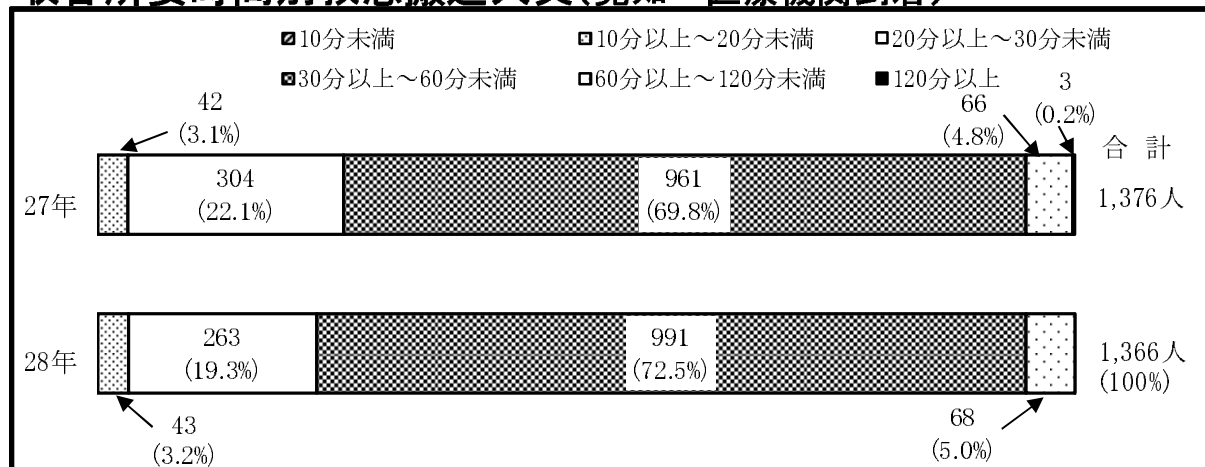
## 事故種別救急出場件数・搬送人員



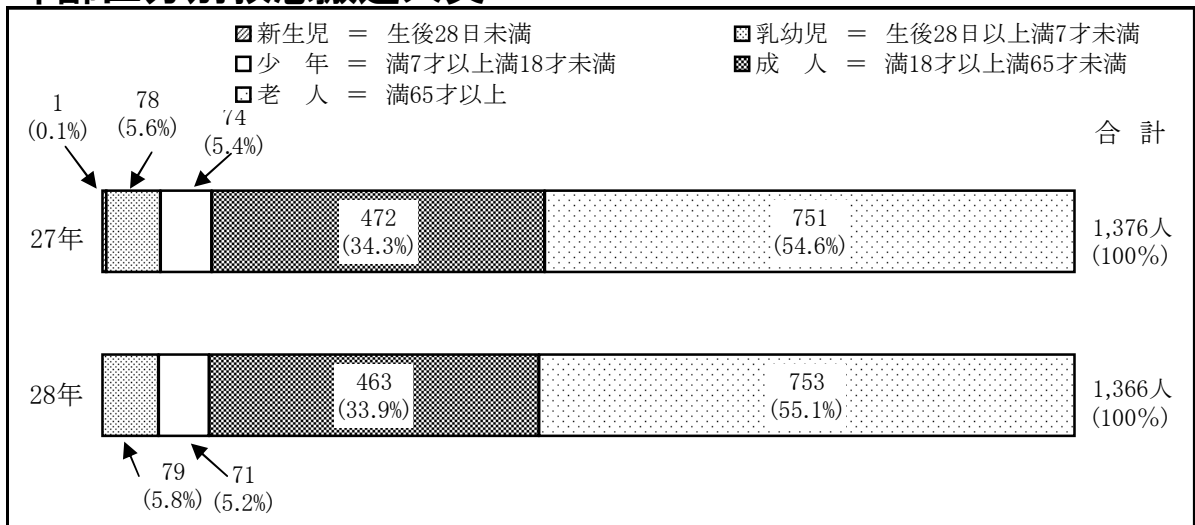
## 現場到着所要時間別救急件数(覚知～現場到着)



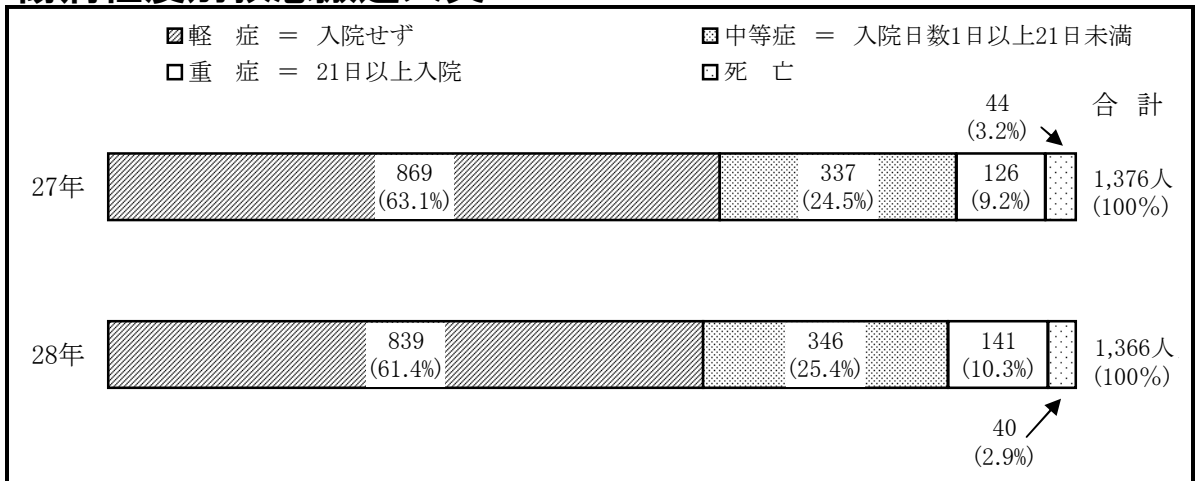
## 收容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



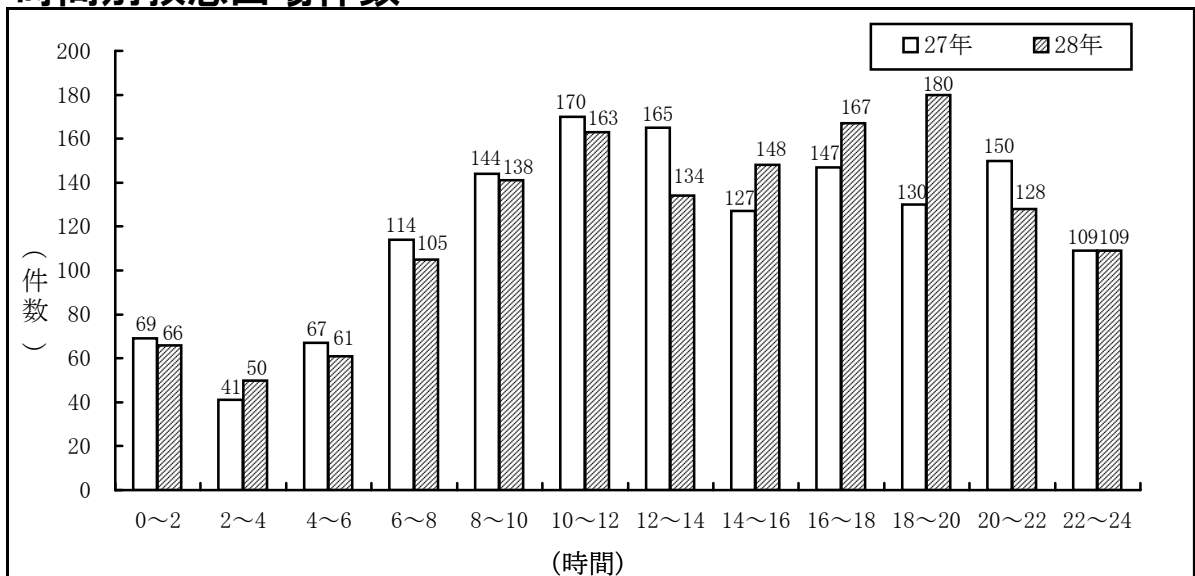
## 年齢区分別救急搬送人員



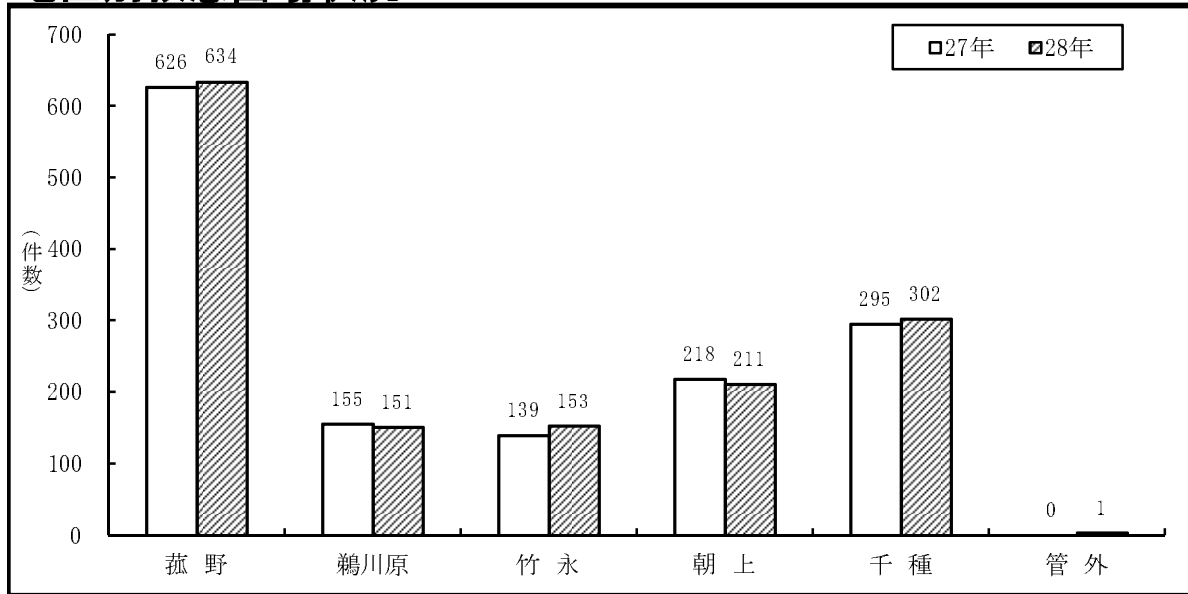
## 傷病程度別救急搬送人員



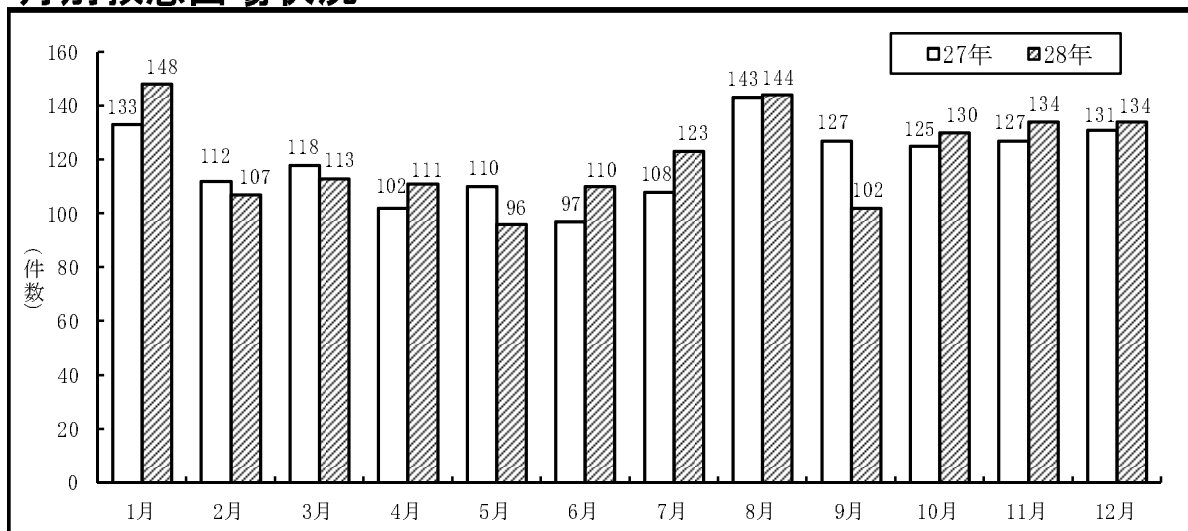
## 時間別救急出場件数



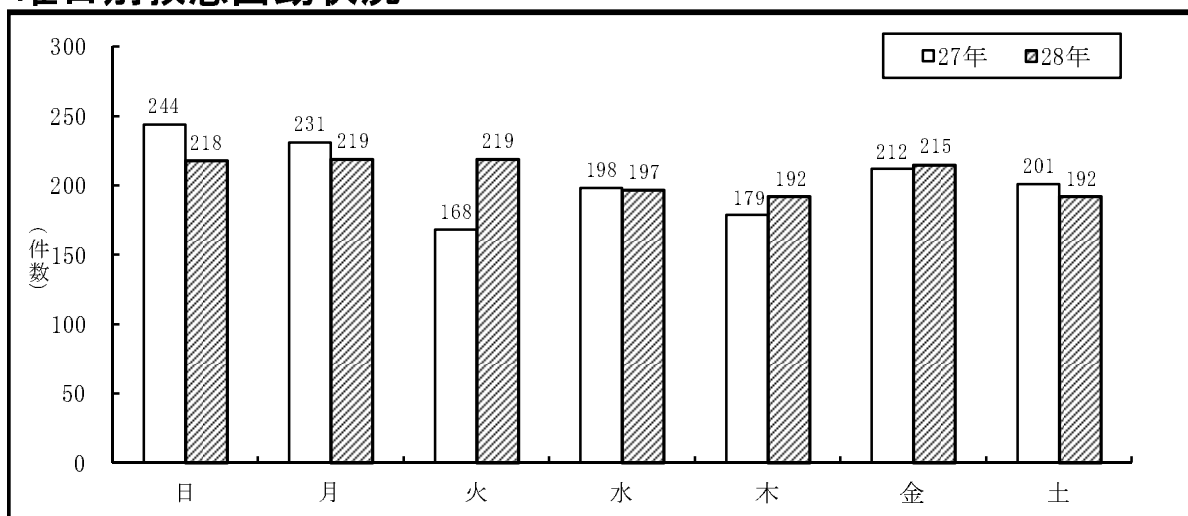
### 地区別救急出場状況



### 月別救急出場状況



### 曜日別救急出動状況



## 年齢区分別・傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	28年合計	27年合計
死亡			2	9	29	40	44
重症			2	29	110	141	126
中等症		9	7	93	237	346	337
軽症		70	60	332	377	839	869
その他							
合計		79	71	463	753	1,366	1,376

## 事故種別・年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	28年合計	27年合計
新生児													1
乳幼児				3			28			48		79	78
少年			1	17		6	13		1	32	1	71	74
成人	1			116	17	4	46	2	4	258	15	463	472
高齢者	1			44	3		141	1	3	533	27	753	751
合計	2		1	180	20	10	228	3	8	871	43	1,366	1,376

## 事故種別・傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	28年合計	27年合計
死亡				2		1			3	33	1	40	44
重症				7	1	1	34		2	80	16	141	126
中等症	1			25	1	1	43	1	3	250	21	346	337
軽症	1		1	146	18	7	151	2		508	5	839	869
その他													
合計	2		1	180	20	10	228	3	8	871	43	1,366	1,376

## 事故種別・時間別救急出場件数

事故種別 区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	28年 合計	27年 合計	
休 日			1	32	3	8	51	2		208	4	309	320	
休日以外の日	3			135	18	2	182	1	12	750	40	1,143	1,113	
時 間 内 訳	0～2			2	1		2			61		66	69	
	2～4			1			6	1		42		50	41	
	4～6			2	1		3			55		61	67	
	6～8			17			12		4	71	1	105	114	
	8～10			26	2	1	24		1	84	3	141	144	
	10～12			1	23	5	4	32	1	2	90	5	163	170
	12～14				14	1		25		1	82	11	134	165
	14～16				14	4	1	32		2	83	12	148	127
	16～18	1			29	4	3	34			88	8	167	147
	18～20	1			29	1		35			111	3	180	130
	20～22				7	2		20		1	97	1	128	150
	22～24	1			3		1	8	1	1	94		109	109
28年計	3		1	167	21	10	233	3	12	958	44	1,452		
27年計				176	27	8	241	5	14	910	52		1,433	

## 事故種別・応急処置件数

事故種別 応急処置	急 病	交 通	一般負傷	そ の 他	合 計
止 血	13	29	71	16	129
固 定	26	155	100	14	295
人工呼吸	8				8
心肺蘇生	33		1	5	39
酸素吸入	237	25	12	22	296
気道確保	49	1	2	5	57
気道確保(特定行為)	5			1	6
保 温	341	64	83	29	517
被 覆	5	29	57	10	101
除 細 動	2			1	3
静脈路確保	24	1	2	3	30
薬剤投与	6			2	8
ブドウ糖投与	1				1
そ の 他	3,058	556	605	265	4,484
合 計	3,808	860	933	373	5,974

※人工呼吸は、単独で行った場合のみ計上。その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等。

## 事故種別・医療機関別救急搬送人員

告示別等	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		28年合計		27年合計		
	開設別		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外	うち 管外		うち 管外		うち 管外	
救急告示医療機関	国立		1	1					3	3	4	4	1	1	
	公立		409	409	91	91	124	124	52	52	676	676	658	658	
	公的		385	66	89	27	97	28	26	9	597	130	681	183	
	私的	病院		53	44			5	5	4	4	62	53	8	1
		診療所													
	計		848	520	180	118	226	157	85	68	1,339	863	1,348	843	
その他の医療機関	国立														
	公立								1	1	1	1	1	1	
	公的		4	4							4	4	1	1	
	私的	病院		11	11			1	1	1	1	13	13	15	15
		診療所		8	6			1				9	6	11	7
	計		23	21			2	1	2	2	27	24	28	24	
計	国立		1	1					3	3	4	4	1	1	
	公立		409	409	91	91	124	124	53	53	677	677	659	659	
	公的		389	70	89	27	97	28	26	9	601	134	682	184	
	私的	病院		64	55			6	6	5	5	75	66	23	16
		診療所		8	6			1				9	6	11	7
	計		871	541	180	118	228	158	87	70	1,366	887	1,376	867	
その他の場所	接骨院等														
	その他														
	計														
28年計			871	541	180	118	228	158	87	70	1,366	887			
27年計			863	522	182	113	234	159	97	73			1,376	867	



## 救助出場状況

平成28年中は、36件の救助出場があり、救助人員は30名でした。当町は面積の約3分の1が山岳地帯で多数の登山者が入山することから山岳救助事案が多く発生しています。(20件)

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所	※覚 知 別
1	交 通	1月 5日 13時 45分	朝 上 (田光)	報 知 電 話
2	その他	1月 7日 0時 13分	千 種 (潤田)	報 知 電 話
3	交 通	3月 18日 19時 41分	千 種 (潤田)	報 知 電 話
4	交 通	4月 13日 13時 52分	竹 永 (永井)	報 知 電 話
5	交 通	4月 25日 10時 46分	竹 永 (永井)	報 知 電 話
6	交 通	4月 26日 7時 58分	千 種 (千草)	報 知 電 話
7	その他 (山岳)	4月 30日 13時 34分	千 種 (千草)	報 知 電 話
8	その他 (山岳)	5月 5日 14時 01分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
9	その他 (山岳)	5月 22日 13時 59分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
10	その他 (山岳)	5月 22日 14時 55分	千 種 (千草)	報 知 電 話
11	その他 (山岳)	5月 22日 15時 53分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話
12	その他 (山岳)	5月 28日 15時 20分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話
13	その他	6月 3日 9時 27分	菰 野 (菰野第二区)	報 知 電 話
14	その他 (山岳)	6月 6日 13時 28分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
15	その他	6月 20日 19時 48分	菰 野 (菰野第一区)	報 知 電 話
16	交 通	6月 23日 19時 52分	菰 野 (福村)	報 知 電 話
17	交 通	7月 21日 11時 02分	朝 上 (小島)	報 知 電 話

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)  
加 入 電 話 = 一般加入電話

	出 場 車 両	人員	事 故 概 要 等	救 助 概 要 等
	救助工作車 救急1号車	4 3	自転車で農業用水に転落した	救急隊と協力して、農業用水から救出した
	救助工作車	3	洗面所から女性二人が自力脱出困難となった	ドアを破壊して、救出した
	救助工作車 救急1号車	4 3	交差点内での自動車同士の衝突事故で、横転した車の1名が自力脱出困難となった	後部ハッチから侵入し、バックボードを使用した全身固定を行い、車外に救出した
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 4 3	2tトラックの単独事故で、1名が挟まれて自力脱出困難となった	要救助者は自力脱出しており、救助の必要は無く、火災危険を考慮し警戒筒先を配備した
	救助工作車 救急1号車 救急2号車 ポンプ車	4 3 3 2	交差点内での自動車と2tトラックの衝突事故で、横転した車の3名が自力脱出困難となった	ドアを開放して車内へ侵入し、抱きかかえて1名ずつ車外に救出した
	救助工作車 救急2号車 救急予備車 ポンプ車	3 3 3 3	交差点内での自動車同士の衝突事故で、横転した車の2名が自力脱出困難となった	要救助者は自力脱出しており、救助の必要は無く、車両の転倒防止措置を行った
	広報車 救急1号車	4 3	風腰峠付近を登山中に滑落した	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	広報車 救急1号車	4 3	御在所岳中道を下山中に滑落した	防災航空隊と協力して、自力歩行にて山頂まで救出した
	広報車	4	御在所岳本谷を登山中に岩で指を負傷した	防災航空隊が救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	広報車	4	釈迦ヶ岳を登山中に滑落した	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
	査察車	4	御在所岳前尾根ヤグラ付近でロッククライミング中に滑落した	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
	広報車	4	御在所岳裏道を下山中に足を負傷した	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
	救助工作車	4	子供が車内から自力脱出困難となった	スペアキーを使用して開錠し、救出した
	広報車 救急2号車	4 2	御在所岳山頂で動けなくなった	御在所ロープウェイ職員と協力し御在所ロープウェイ山頂駅まで救出した
	救助工作車 救急1号車	4 3	入浴後、車椅子に移動しようとした際にレバーが左側腰部に突き刺さった	レバー部分を工具にて取り外し、救出した
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	3 2 3	交差点内での自動車同士の衝突事故で、横転した車の2名が自力脱出困難となった	要救助者は自力脱出しており、救助の必要は無かったので、車両の転倒防止措置を行った
	救助工作車 救急1号車	4 3	自転車で転倒して、ホイールスポークの間に左足首が巻き込まれた	通りがかりの者がホイールスポークを切断して要救助者は救出されていた

## 救助出場状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所	※覚 知 別
18	その他 (山岳)	7月 24日 13時 06分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話
19	交 通	8月 11日 18時 19分	鶴川原 (下村)	報 知 電 話
20	交 通	8月 22日 19時 07分	千 種 (千草)	報 知 電 話
21	交 通	8月 25日 17時 21分	菰野 (菰野第三区)	報 知 電 話
22	交 通	8月 27日 6時 04分	鶴川原 (吉沢)	報 知 電 話
23	交 通	9月 22日 17時 52分	千 種 (千草)	加 入 電 話
24	その他 (山岳)	9月 30日 11時 49分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話
25	その他 (山岳)	10月 10日 10時 18分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話
26	その他 (山岳)	10月 11日 12時 26分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話
27	その他 (山岳)	10月 29日 9時 51分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話
28	その他 (山岳)	10月 30日 8時 03分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話
29	その他 (山岳)	11月 6日 10時 06分	菰野 (湯の山)	加 入 電 話
30	その他 (山岳)	11月 8日 12時 07分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話
31	その他 (山岳)	11月 9日 8時 30分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話
32	その他 (山岳)	11月 12日 16時 20分	菰野 (湯の山)	加 入 電 話
33	その他 (山岳)	11月 23日 11時 35分	千 種 (千草)	報 知 電 話
34	その他 (山岳)	11月 23日 14時 37分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話
35	その他 (山岳)	11月 26日 10時 12分	千 種 (千草)	報 知 電 話
36	交 通	12月 27日 18時 08分	竹 永 (竹成)	報 知 電 話

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)  
 加 入 電 話 = 一般加入電話

出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
広報車	4	鎌ヶ岳三ツ口谷登山口付近を下山中に滑落した	出動途上で要救助者が自力下山完了の情報が入り帰署した
救助工作車 救急1号車 救急2号車 ポンプ車	3 3 3 2	交差点内での自動車同士の衝突事故で、横転した車の3名が自力脱出困難となった	ドアを開放して車内へ侵入し、介添えにて1名ずつ車外に救出した
救助工作車 救急1号車	4 3	自動車の単独事故で、1名が自力脱出困難となった	ドアを開放して車内へ侵入し、抱きかかえて車外に救出した
救助工作車 救急1号車 救急2号車	4 3 3	交差点内での自動車同士の衝突事故で、それぞれの車の1名ずつが自力脱出困難となった	先着の救急隊が救出し、救助隊は救急隊の活動支援を行った
救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 2 3	交差点内での自動車同士の衝突事故で、横転した車の1名が自力脱出困難となった	ドアを破壊して車内へ侵入し、要救助者にバックボードを使用した全身固定を行い、車外に救出した
救助工作車 救急1号車	5 3	自動車の単独事故で、1名が自力脱出困難となった	要救助者にバックボードを使用した全身固定を行い、車外に救出した
広報車 救急1号車	4 3	御在所岳裏道を登山中に滑落した	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
広報車	4	御在所岳中道を登山中に転倒した	防災航空隊が救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
広報車 救急1号車	4 3	武平峠付近を登山中に滑落した	要救助者に頸椎固定を行いバスケット担架に収容し、人力搬送にて救出した
広報車 救急2号車	4 3	御在所岳中道を登山中に転倒した	介添えにて登山口まで救出した
広報車 救急2号車	4 3	御在所岳中道を登山中に滑落した	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
広報車	4	御在所岳中道を登山中に体に力が入らない状態になった	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
広報車	4	御在所岳大黒岩付近で頭部負傷し、意識が無い状態で発見された	天候不良により、ヘリコプター及び救助隊での救出が困難であると判断し、後日救助を行うものとして帰署した
広報車 防災広報車	4 2	救助No.30の要救助者への再救助	バスケット担架に収容し、人力搬送にて救出した
広報車 資機材搬送車 救急1号車	4 2 3	御在所岳中道を登山中に体に力が入らない状態になった	介添えにて登山口まで救出した
広報車 救急1号車	4 3	木登り中に3mの高さから転落した	バスケット担架に収容し、人力搬送にて救出した
広報車	4	御在所岳裏道を下山中に一時的に意識を失った	防災航空隊が救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
広報車	4	釈迦ヶ岳庵座の滝付近を登山中に滑落した	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
救助工作車 救急2号車	3 3	交差点内での自動車同士の衝突事故で、横転した車の1名が自力脱出困難となった	ドアを開放して車内へ侵入し、介添えにて車外に救出した

## 事故種別出場件数・救助人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	28 年 合 計	27 年 合 計
	建 物	他										
出 場 件 数			13							23	36	32
救 助 人 員			13							17	30	20

## 事故種別・救助出場人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	28 年 合 計	27 年 合 計
	建 物	他										
救 助 隊 員			49							95	144	133
消 防 隊 員			15								15	
救 急 隊 員			51							29	80	54
合 計			115							124	239	187

## 事故種別・救助出場車両

種別 車両	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	28 年 合 計	27 年 合 計
	建 物	他										
救 助 工 作 車			13							3	16	14
タ ン ク 車												
ポ ン プ 車			6								6	
救 急 車			17							10	27	18
指 揮 車												1
広 報 車										19	19	18
資 機 材 搬 送 車										1	1	1
そ の 他 の 車 両										2	2	
合 計			36							35	71	52

※その他の車両とは、査察車と防災広報車